

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和5年6月/ 日			
福岡市長 殿			
提出者			
住 所 福岡市西区今宿青木360-1			
氏 名 株式会社 イシキヨ			
代表取締役 石橋 清			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 092-806-6833			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 イシキヨ		
事業場の所在地	福岡市西区今宿青木360-1		
事業の種類	建設業(解体工事業・とび・土工工事業)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3118.88 t	全処理委託量	3118.88 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	397.99 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2176.23 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			



(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 393.91t

② 0

③ 0

④ 0

⑤ 0

⑥ 0

⑦ 0

⑧ 0

⑨ 0

⑩ 393.91t

⑪ 0

⑫ 0

⑬ 0

⑭ 0

項目	実績値
①排出量	393.91t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	393.91t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	393.91t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

⑬

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類 【コンクリート】)

有 償 物 量

不要物等発生量

排出量

① 1826.2t

項目	実績値
①排出量	1826.2t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1826.2t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	226.4t
⑫再生利用業者への処理委託量	1599.8t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残量

⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 1599.8t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 226.4t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 1599.8t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

有償物量		
不要物等発生量		
排出量	①	512.55t
実績値	①排出量	512.55t
②+⑧自ら再生利用を行った量	②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	⑩全処理委託量	512.55t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.2t
⑫再生利用業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行った量	⑤	0
自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑦	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	512.55t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	15.2t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0
自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類(石綿含有))

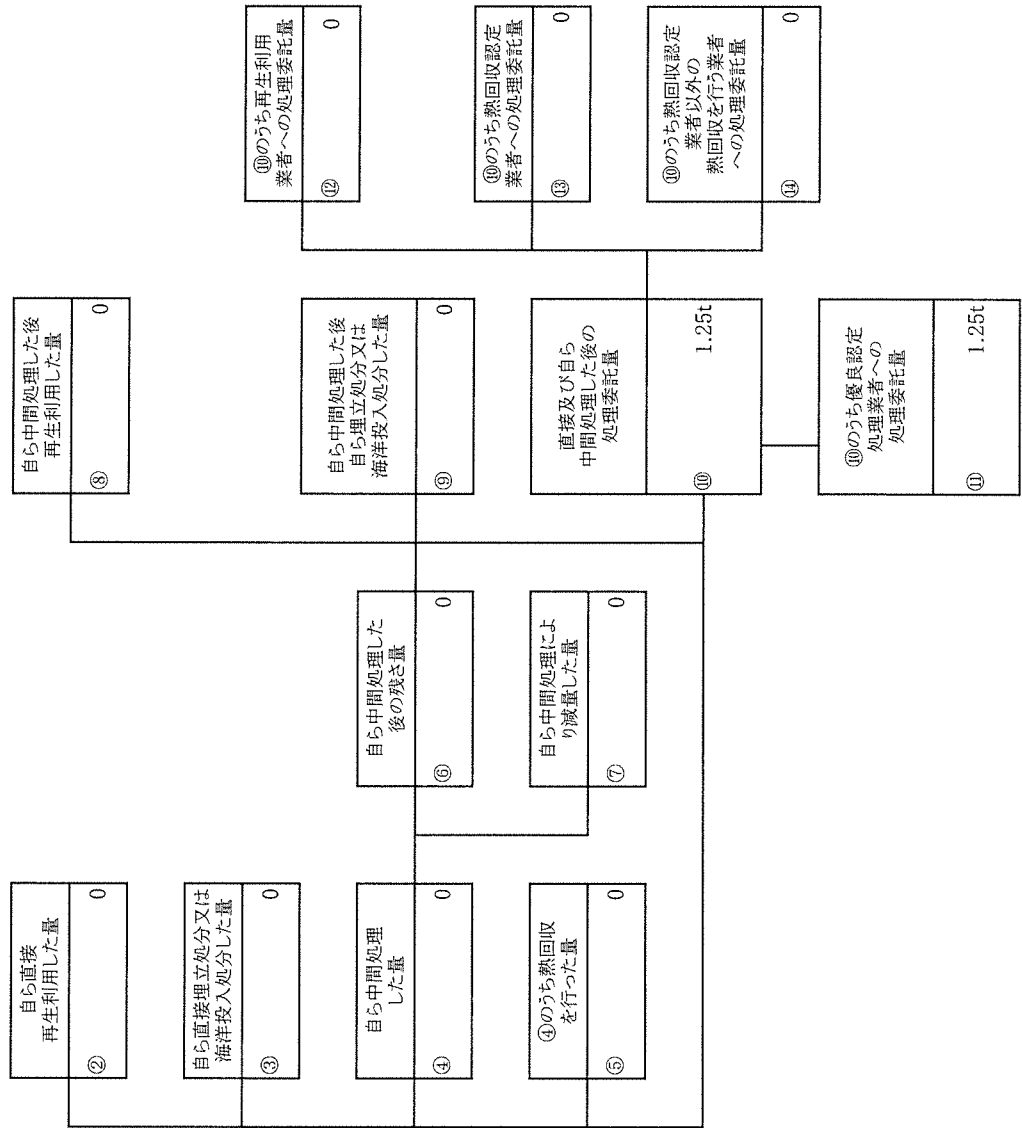
有償物量		
不要物等発生量		
排出量	①	32.11t
①排出量	実績値	32.11t
②+⑧自ら再生利用を行った量		0
⑤自ら熱回収を行った量		0
⑦自ら中間処理により減量した量		0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0
⑩全処理委託量		32.11t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0
⑫再生利用業者への処理委託量		0
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行った量	⑤	0
自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0
自ら中間処理した後の減量した量	⑦	0
自ら中間処理した後再生利用した量	⑧	0
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	32.11t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

不要物等発生量	有償物量
	排出量
	① 1.25t
項目	実績値
	①排出量
	②+⑧自ら再生利用を行った量
	⑤自ら熱回収を行った量
	⑦自ら中間処理により減量した量
	③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
	⑩全処理委託量
	⑪優良認定処理業者への処理委託量
	⑫再生利用業者への処理委託量
	⑬熱回収認定業者への処理委託量
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量



[illegible]

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・陶磁器くず (石膏ボード等)

不要物等発生量		有償物量
		排出量
①	65.79t	
項目	実績値	
①排出量	65.79t	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	65.79t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.79t	
⑫再生利用業者への処理委託量	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行った量	⑤	0
自ら中間処理した後の残量	⑥	0
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	65.79t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	65.79t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0
自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物 管理型)

有償物量		排出量	75.29t
不要物等発生量			
①		75.29t	

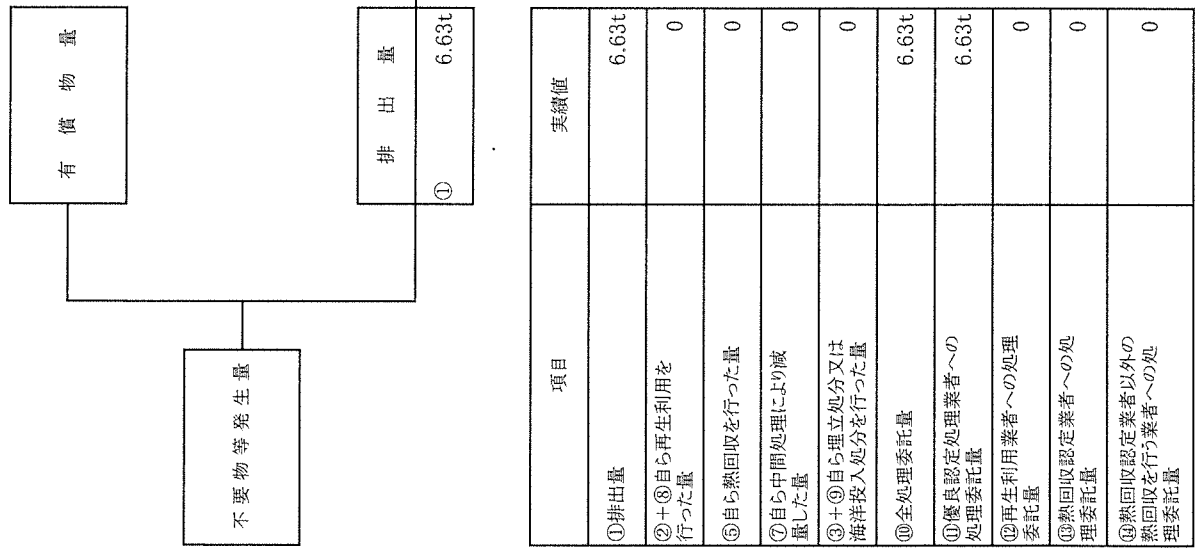
項目	実績値
①排出量	75.29t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	75.29t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.29t
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	実績値
①排出量	75.29t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	75.29t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.29t
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

②	0	⑧	0	⑫のうち再生利用業者への処理委託量	0
③	0			⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
④	0			⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
⑤	0			⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	75.29t
⑥	0				
⑦	0				
⑧	0				
⑨	0				
⑩	75.29t				
⑪	75.29t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 特別管理型廃棄物 廃石綿)

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	①
	4.2t
実績値	4.2t
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	4.2t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2t
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行った量	⑤	0
自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	4.2t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	4.2t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑭	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑮	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： がれき類【アスファルト】)

有 償 物 量	
不 要 物 等 発 生 量	
排 出 量	
①	143.9t
①排出量	実績値
②+⑧自ら再生利用を行った量	143.9t
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	143.9t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	143.9t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

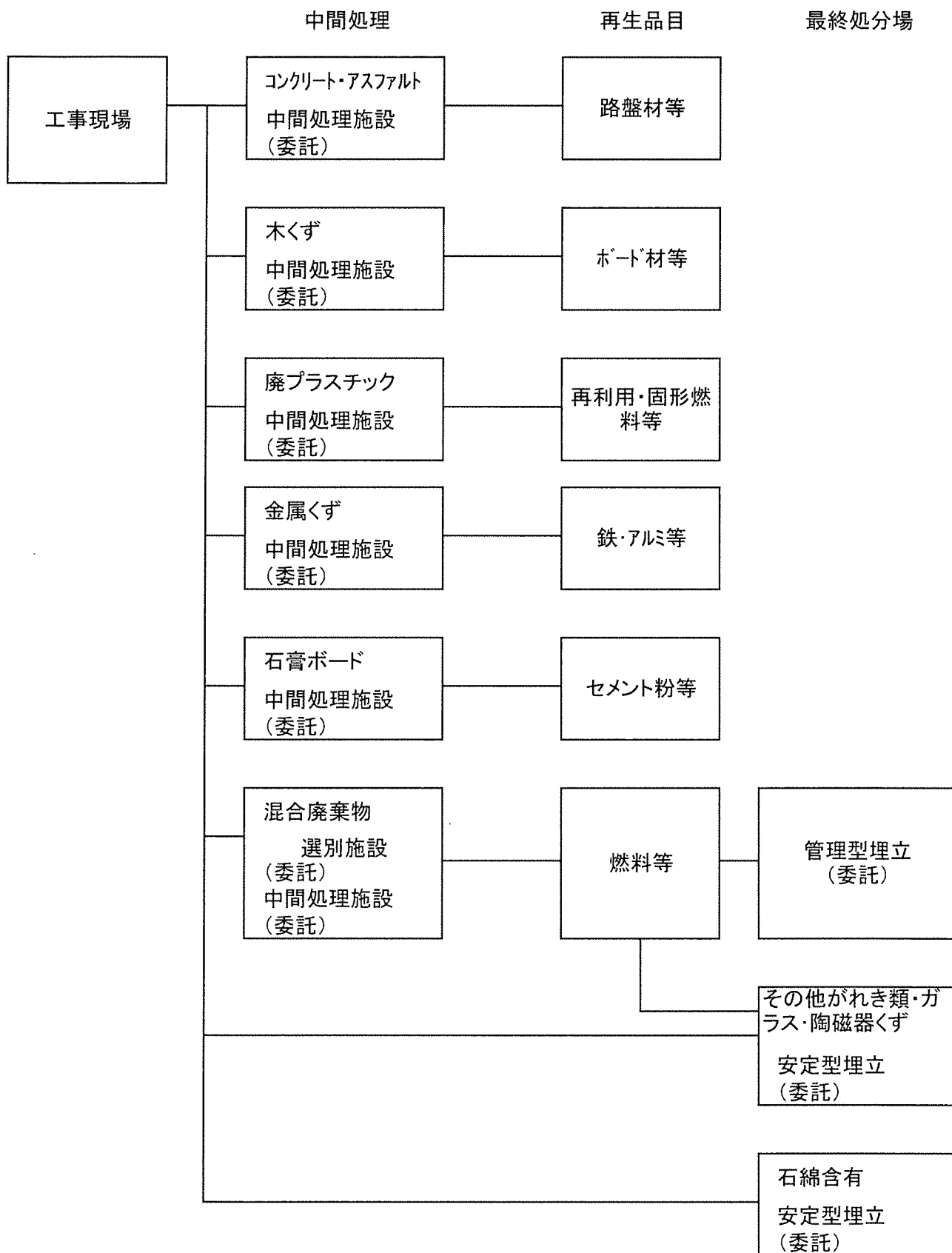
自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行った量	⑤	0
自ら中間処理した後の残量	⑥	0
自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	143.9t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑭	0
自ら中間処理した後、再生利用した量	⑧	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

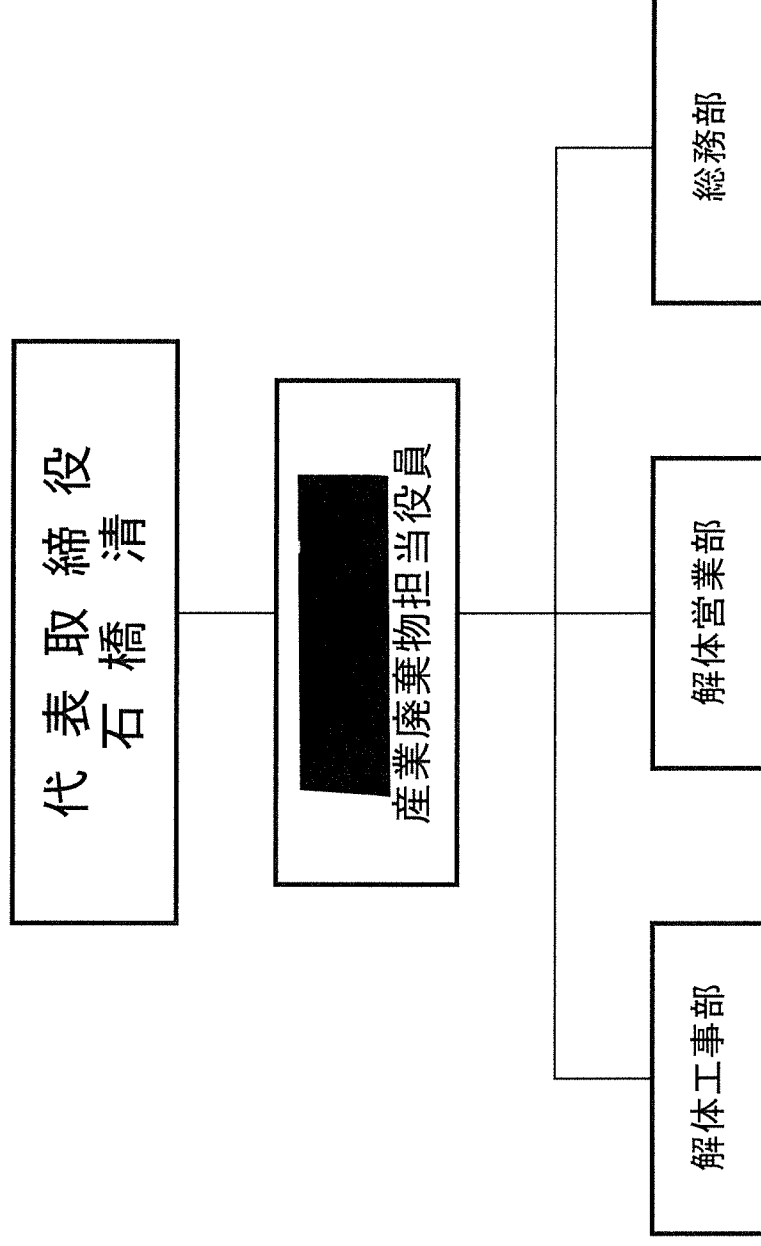
産業廃棄物フロー図

別紙1



産業廃棄物管理組織図

別紙2



(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月 / 2日	
福岡市長	殿
提出者	
住 所 福岡市西区今宿青木360-1	
氏 名 株式会社 イシキヨ	
代表取締役 石橋 清	
電話番号 092-806-6833	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 イシキヨ
事業場の所在地	福岡市西区今宿青木360-1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業（解体工事・とび・土工 工事業）
② 事業の規模	前年度の解体工事売上額：2億4千万円
③ 従業員数	13名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図)				
別紙2				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（4年度）実績】		別紙3記載	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	（これまでに実施した取組） コンプライアンスの遵守。 再資源可能な産業廃棄物の選別の徹底。 有価物の選別の徹底。 発生する産業廃棄物の種類・選別方法・処理方法等の留意事項を従業員等に定期的に教育・指導を行う。			
② 計画	【目標】 別紙3記載			
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	（今後実施する予定の取組） コンプライアンスの遵守。 再資源可能な産業廃棄物の選別の徹底。 有価物の選別の徹底。 発生する産業廃棄物の種類・選別方法・処理方法等の留意事項を従業員等に定期的に教育・指導を行う。			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場毎に人力及び機械併用にて産業廃棄物の選別を行う。 コンクリート及び木くず等のリサイクル可能な産業廃棄物の選別の徹底。			
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場毎に人力及び機械併用にて産業廃棄物の選別を行う。 コンクリート及び木くず等のリサイクル可能な産業廃棄物の徹底。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実績なし			
② 計画	【目標】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
② 計画	【目標】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認等の徹底。 委託契約後の処理施設の処理・維持管理・周辺状況等の定期的な確認。 マニフェストの管理の徹底。 産業廃棄物に係る関係法令や産業廃棄物の処理方法等についての情報収集を行い従業員等に定期的に教育・指導を行う。		

② 計画	【目標】 別紙3に記載		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認等の徹底。 委託契約後の処理施設の処理・維持管理・周辺状況等の定期的な確認。 マニフェストの管理の徹底。 産業廃棄物に係る関係法令や産業廃棄物の処理方法等についての情報収集を行い従業員等に定期的に教育・指導を行う。 環境に係る社会活動への積極的な参加。 環境に配慮した製品等の展示など環境イベントへの参加。		
	※事務処理欄		

産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙3

単位:トン(t)

①現状【前年度(令和4年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類													排出量合計
		コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	石綿含有(がれき)	木くず	廃プラスチック類	金属くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合型廃棄物(管理)	陶磁器くず・びん	蛍光灯	(特別管理型) (廃石綿)	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
①現状 排出量		1826.2	143.9	527.75	32.11	393.91	1.25	0	41.85	65.79	75.29	6.63	0	4.2	3118.880
②計画 排出量		700.00	100.0	300.00	1.00	500.0	1.00	1.00	2.0	15.00	40.00	0.00	0.0	0.0	1660
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項															
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項															
①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項															
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
全処理委託量		1826.20	143.9	527.750	32.110	393.91	1.25	0	41.85	65.79	75.290	6.630	0.00	4.2	3118.880
①現状	優良認定処理業者への処理委託量	226.400	0	15.2	0	0	1.25	0	3.23	65.79	75.290	6.630	0	4.2	397.990
	再生利用業者への処理委託量	1599.8	143.9	0	0	393.91	0	0	38.62	0	0	0	0	0	2176.230
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量		700	100	300	1	500	1	1	2	15	40	0	0	0	1660
②計画	優良認定処理業者への処理委託量	200	0	0	0	0	1	0	2	15	40	0	0	0	258
	再生利用業者への処理委託量	500	100	300	1	500	0	1	0	0	0	0	0	0	1402
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。